西暦　2026 年　8 月　24 日

2010 年 5 月～2019 年 9 月に産業医科大学病院において

Coats 病と診断され「眼科疾患における遺伝子解析」に参加された患者さんへのお知らせ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報の記録に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 3 年 3 月 23 日制定　令和 3 年 6 月 30 日施行)」により、対象となる患者さんのお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の診療情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

１．研究課題名

Coats 病の病因究明のための遺伝子研究

２．研究期間

2024 年 7 月 10 日 ～ 2028 年 6 月 30 日

３．研究機関

産業医科大学

４．研究責任者

産業医科大学医学部眼科学　教授　近藤寛之

５．研究の目的と意義

この研究は産業医科大学医学部眼科学　教授 近藤寛之を研究代表者とする多機関共同研究です。

Coats 病は原因不明の難治性疾患で適切な治療や予防法が確立していない疾患です。非遺伝性疾患ですが、網膜で何らかの遺伝子異常が生じている可能性が考えられます。

［目的］

今回、Coats 病患者さんの眼内液と血液に含まれる DNA あるいは RNA の遺伝子の違いを比較することを目的としています。また、各患者さんの診療情報から、治療内容と予後を比較します。

［意義］

この研究を行うことでCoats病の遺伝子異常を検出できる可能性があります。どのような治療が予後に関わってくるかが明らかになる可能性があります。

６．研究の方法

試料は産業医科大学病院眼科にて研究目的で採血が行われ、「眼科疾患における遺伝子解析」で保管された血液と眼内液のDNAです。委託する外部機関に送り、次世代シークエンサーを用いて遺伝子の配列決定を行い、マイクロアレイによるDNAタイピング解析を行います。結果はコンピューターのデータとして返却され、そのデータを産業医科大学眼科研究室と関西医科大学附属生命医学研究所ゲノム解析部門で解析します。末梢血の遺伝子配列と比較し、眼内液のサンプルに異常がないかを評価します。また、公開されている日本人の遺伝子データベース（BioBank Japan)、日本眼科学会が保有する正常な方の遺伝子データ（約2,000例)、および統計解析責任者が保有する正常な方の遺伝子データ（約7,000例）と比較し、頻度を分析し疾患と関連する遺伝子を探索します。

診療情報に関しては、初診時の眼所見、治療内容、最終的な眼所見を解析し、予後に関わる要素の有無を評価します。

７．個人情報の取り扱い

個人情報の公開はいたしません。データの解析の際には対象者を特定できないように氏名、住所などの個人情報を全て加工します。

この研究への参加の拒否は自由です。研究への参加にご同意いただけない患者さんは下記問い合わせ先にご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。

８．問い合わせ先

産業医科大学医学部眼科学　講師　松下五佳　　電話番号 093-691-7261

９．その他

研究への参加に対する直接的な利益はありません。また、費用の負担や謝礼もありません。この研究は一切の利益相反はなく、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。